

環境負荷の全体像

ムラタが事業活動を行う上で、資源やエネルギーの利用などさまざまな形で環境に負荷を与えています。ここではそうした負荷の概要を示すことで、どの部分で環境への影響が大きいのか把握できるようにしています。

インプットの概要

インプットとしては、製品の原材料と生産活動にともなうエネルギー使用量が多くを占めています。ムラタでは、CO₂排出削減のため省エネ診断などを実施し、全社をあげて取り組んでいます。また、事業特性上、化学物質も大きな比重を占めています。ムラタでは、その取り扱いについて厳格かつ適正な管理を行い、使用量の削減に取り組んでいます。

アウトプットの概要

アウトプットとしては、大気中に排出されるCO₂をはじめ、廃棄物の発生、水域への排出などがあります。ムラタでは、2004年3月に国内事業所においてゼロエミッション(対象となる廃棄物の埋め立てゼロ、リサイクル率100%)を達成しています。今後は、発生量自体の削減とリサイクルレベルの向上を進めていくことを予定しています。

また、ムラタの製品はお客様へ納品され、組み立てられる際にも省資源、省エネルギーとして貢献できる部分が多く、そうしたデータの把握が今後の課題となっています。

INPUT

【算出方法】

- ・化学物質
国内事業所・子会社におけるPRTR対象化学物質取扱量
- ・エネルギー
国内・海外の事業所・子会社における電気、燃料の消費量
- ・水
国内・海外の事業所・子会社における水使用量

仕入先(サプライヤー)

仕入先の環境影響度(グリーン度)を独自に調査し、環境に積極的に取り組んでいる企業から優先的に調達しています。

OUTPUT

【算出方法】

- ・化学物質
国内事業所・子会社におけるPRTR対象化学物質の取扱量に、大気や水系への排出割合を乗じて算出
- ・大気排出
CO₂:国内・海外の事業所・子会社におけるエネルギー消費にCO₂換算係数を乗じて算出
NOx、SOx:国内・海外の事業所・子会社の排気口から排出される排ガス中の物質濃度測定結果より算出
- ・廃棄物(処分費用を要するものに限る)
国内・海外の事業所・子会社からの発生量
- ・排水量
国内・海外の事業所・子会社から下水道または河川に排水した量

化学物質取扱量	エネルギー使用量	水使用量
4,591トン	260,998kℓ (原油換算)	873万m ³
	・電気 83,437万kWh ・燃料 49,389kℓ	



村田製作所グループ

開発・設計段階から環境への影響を把握し、製品づくりにおける負荷を可能な限り減らすよう取り組んでいます。

お客様

納入後、お客様先での環境負荷を低減できるように製品づくりを進めています。今後は、データの把握を進めていきます。



化学物質排出量	大気排出量	廃棄物発生量	排水量
29.8トン	・CO ₂ 455,154トン-CO ₂ ・NOx 84.0トン ・SOx 16.2トン	34,679トン	814万m ³

※ムラタでは、CO₂以外の温室効果ガスを排出していません。
(温室効果ガスとは、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に定めるものをいう)